

見積徴収の徹底とオリジナル配合肥料製造によるコスト削減

静岡県

株式会社鈴生

www.oretachinohatake.com



SUZUNARI company



経営耕地面積合計	主な生産品目（露地野菜）			売上規模	従業員体制
161ha (借地含む)	レタス 80ha	枝豆 40ha	ねぎ 15ha	1億円以上	常勤7名以上 パート多数

資材の仕入れ等にかかる独自の取組み

- 業務用出荷が中心であり、特別栽培やJGAP認証などの基準を満たす必要。
- 肥料については、自社圃場に適した資材を使用する方針のもと、メーカーに依頼して有機原料（魚かす・肉骨粉等）を活用。原料も、海外由来原料から国内産中心へ切り替え。
肥料メーカーと連携してオリジナル肥料を開発、コストを抑えたオリジナル配合の肥料を製造してもらい年間でまとまったロットを確保。
- 農薬については、相見積もりを取得**
 - ・毎年3社に見積もりを依頼し、価格水準を比較。
 - ・価格比較のみならず、病害虫発生時の診断対応や技術支援といった付加価値も含めて総合的に判断。
- 種子については、栽培技術や品種特性に関する情報提供、試験結果の共有など、技術的なサポートを重視し、主に種苗会社から仕入れ。
- 肥料や種子も、**複数社と取引関係を持つ事で競争環境を確保し過度な価格上昇を抑制**
- 農業機械については、スマート農業機械等を中心に作業の省力化・省人化**を図り、人件費の抑制や作業効率の向上を実現。

導入効果

- 肥料については、メーカーとの連携による年間契約の実施、農薬等については、取引先を分散させることで、一定程度低価格での調達が可能となっており、**肥料、農薬、種子ともに一般小売価格と比べ約2割程度のコスト削減。**

